

行政視察等報告書

令和5年10月20日

米子市議会議長様

(会派の場合)

会派名 公明党議員団

代表者氏名 今城 雅子

提出者氏名 津田 幸一

(議員の場合)

議員名



下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	今城雅子、津田幸一、徳田博文、矢田貝香織
期日	令和5年10月10日から 令和5年10月12日まで
〔概要〕(年月日・場所・内容) 1. 令和5年10月10日 埼玉県草加市役所「そうかりノベーションまちづくり事業について」 自治文化部 山田賢治 産業振興課長ほか 2. 令和5年10月11日 埼玉県川口市役所「空き家対策について」 都市計画部 木村美和子 次長兼 住宅政策課長ほか 3. 令和5年10月11日 東京消防庁消防博物館は臨時休館のため見学できなかった。 4. 令和5年10月12日 神奈川県大和市役所「終活支援について」 健康福祉部 阿部亨 おひとりさま政策課長ほか	
〔所感〕 別紙記載	
経費	旅費@74,868円×4人=299,472円 その他@ 円× 人= 8,748円 合計 308,220円

所感① 埼玉県草加市

「そうかりノベーションまちづくり事業」について

【日 時】 令和5年10月10日（火） 14:00～16:00

【場 所】 草加市役所

【説明者】 草加市自治文化部

山田 賢治 産業振興課長

吉田 倫洋 産業振興課長補佐

【調査概要】

- 草加市の現状はベッドタウンで家には寝に帰る。遅く帰って週末は市外へ行く。市内で買い物をしない。お金は市外で使う。
- そうかりノベーションまちづくりとは域内経済循環を加速させるために、「地域資源を育て、稼ぐ」地域密着型ビジネスの担い手を育てたい。
- 公民連携のまちづくりとは、地域が抱える多くの課題を行政と民間が、それぞれ「志」と「責任・権限」を持ち適切な役割分担をしながら、両社が対等な立場で連携して解決するとともに、公共サービスの受益を最大化することで行政サービスではない。
- 「顔の見える経済循環」も「ハブ」を生み育てるための最適な手法で選んだのがリノベーションまちづくりである。
- リノベーションまちづくりとは、空き家や空き店舗などの遊休不動産をリノベーションし、再生することで地域の抱える課題の解決につながる新しいまちのコンテンツの集積を図り、短期間にエリア内の変化を生み出す都市再生手法。（以下3点）
 - ・「家守会社」と呼ばれる民間自立型まちづくり会社や志のある個人事業主が主導する。
 - ・小さなエリア（リノベーションスクール）に絞りそのエリア内で次々と変化を起こすことで、より短期間で目に見える変化を生み出していく。
 - ・できる限り補助金に頼らずに事業化する。
- リノベーションスクールは50歳以下で10人程度のチームを組み地域経営課題を踏まえた町の未来を考える。受講生は3日間の日程でビジネスプランを練り上げ、最終日に不動産オーナーに提案し受講生が設立する家守会社が、不動産オーナーと打合せを重ね提案を元に事業化を目指す。
- これまでの結果・成果
 - ・ リノベーションスクールの4か月後に外から店内が見えるつくりの地元の野菜を使ったオーガニックの店をオープンした。
 - ・ 使われなくなってきた公共空間をリノベーションスクールの題材で「SOSOPARK」としてレンタルスペース&コミュニティパークとして使い方が明確になった。その中にちよいと集えるスタンド『ユルリ』が7月末にグランドオープンした。
 - ・ 地域のにぎわいを作るためのハブのような場として「子連れで働けるシェアアトリエつなぐば」をつなぐば家守舎が運営している。ここはつなぐばと共感した人しか使えないカフェである。ここでは自分の得意なことや趣味を活かして、草加市女性

創業スタートアップ事業「わたしたちの月3万円ビジネス in 草加」(以下「3ビズ」) 創業の新しいモデル、子育て世代の新しい働き方として今大きく注目されており、「3ビズ」卒業生のつなぐば家守舎取締役の松村様がメイン講師をされている。

- ・ 「3ビズ」とリノベーションがコラボして地域のにぎわいを生み出している。また、顔の見える人から買う「顔の見える経済循環」である。
- ・ そもそも無かったビジネスであり現在は5つの家守会社が誕生し、25の新規ビジネスを創出させた。
- ・ 草加市の不動産市場は、既存の空き家や空き店舗を利用した「リノベーションまちづくり」を積極的に推進した結果、草加市が言わなくても「いま、草加おもしろい」と民間企業が宣伝等をしており、住みたい町ランキングでは2019年以前は10位圏外であったが、2020年は7位となった。
- ・ 飲食店向け物件の賃料上昇率では2021年に1位で2019年度比では約2倍となっている。
- 今後については、谷塚駅西口地区は昭和50年からの道路拡張などが進んでいないことなどから課題を抽出し谷塚エリアの都市再生戦略を行っていく。官民の遊休不動産などを使った事業創出でマーケットの学校や企業版リノベーションスクールを行っていく。
- 行政計画の位置づけとして市は公式に応援し、そのための財源と人員の確保をする。草加市の事業継続のための仕組みづくりは補助金ありきとなるため補助金を出さないし家賃も下げないこととしている。やりたい人を支援していく。

【所感】

- ・ 家守会社と官民のプレーヤーとの連携や地元で協力していただき、事業が成功している。ここには草加市担当の方が各箇所に足を運ばれ、そこで話を聴いてお互いの信頼関係を築いてこられたからこそだと感じる。
- ・ 米子市でも元町商店街や中町など、多くの古い空き店舗や遊休不動産があり、「そうかりノベーションまちづくり」の「地域資源を育て、稼ぐ」地域密着型ビジネスの担い手を育てたいという考え方について、米子市でも展開できるよう視察内容を参考にしてみたい。

所感② 埼玉県川口市

「空き家対策事業」について

【日時】令和5年10月11日(水) 10:00~12:00

【場所】川口市役所

【説明者】川口市都市計画部

木村 美和子 次長兼 住宅政策課長

広木 哲也 住宅政策課長補佐兼 住宅管理促進係長

大塚 強平 住宅政策課 住宅管理促進係

【調査概要】

- 空き家の概要では、平成 28 年度空き家実態調査（現地調査、アンケート調査）で空き家は 1,662 棟で解体済み 168 棟（滅失登記上がったもの）であった。空き家の通報状況（H24.1～R5.3 の累計）は通報総数が 1,055 件で解決が 733 件うち、解体済み 435 件、未解決が 322 件であった。
- これまでの取組では平成 30 年の「川口市空家等対策に関する条例」施行し H30～R4 に財産管理人専任申立で所有者不明土地法を実施している。
- 川口市の空家等対策の基本方針で「所有者等による解決考動の促進・支援」や「市による空家等への対応」に川口市の役割を明記している。
- 管理不全空き家については、空家対策特措法の特定空家等に対する措置第 14 条で空き家の行政代執行を行っている。また空き家の略式代執行法は今まで無かったが明確化され川口市で行うことができた。
- 財産管理人制度については相続財産清算人（H5.4 以前は管理人）制度と不在者財産管理人制度があり前者は財産管理清算するもの、後者は財産管理保全するもので、事例で川口市の一人暮らしで亡くなった相続人がいない空き家の相続財産管理人制度活用について申立書、また費用の説明を受け予納金（担保金）はさいたま家裁では原則 100 万円とのことである。
- 川口市での相続財産管理人制度活用について今まで 25 件を行って予納金返金がされなかったのは 1 件だけであった。公道に土地が面していない場合やケースバイケースではあるが、予納金返金が全額無い場合がある。

【所感】

- ・ 川口市での空き家対策についての説明を聞き、長い案件であるので引継業務であるが、細部にわたって前任者の方から引き継がれており、法令に基づいた手続を行って空き家対策をされている。
- ・ 米子市でも事例であった同様の空き家があり、展開できるよう視察内容を参考にしたい。

所感③ 神奈川県大和市

「おひとりさま終活支援事業」について

【日 時】令和 5 年 10 月 12 日（木） 10:00～12:00

【場 所】大和市役所

【説明者】大和市健康福祉部

阿部 亨 おひとりさま政策課長

【調査概要】

- 経緯については、人生 100 年時代の到来の中で、ひとり暮らしの増加が懸念され「おひとりさま死後の財産の課題」と「葬儀や納骨などの心配」から終活支援事業を開始した。生涯未婚率は特に男性が多く、そのまま亡くなるケースが見られる。

- 相談支援では、担当の相談員「わたしのコンシェルジュ」を置き、終活に対する不安に丁寧に対応している。相談員を市の職員とした理由は、相談が介護関係などの市が取り扱う相談がほとんどのためである。
- 相談については平成28年から開始しており、40代から80代までが相談している。特に70代から80代が大部分を占めており、令和4年は30代も相談している。平成28年から令和4年の相談件数は1,242件であった。
- 終活支援登録では登録者に登録カードを発行し、現在67件の登録がある。
- 専門家相談・遺品整理支援について、専門家相談は神奈川県との司法と連携しており財産、任意後見、遺言執行者などについての相談ができる。また、遺品整理支援について、遺品については遺族となり得る方などとのトラブルになりかねないので、支援を行っている。
- エンディングノートについては民間委託して制作され、保管制度もあり市で保管している（現在1名）。説明の中でご担当者より、米子市はあんしん手帳を作られているが、医師会が制作しており医者が動いていることで、医療との連携があることに大和市は米子市から学んだと言われた。
- 大和市の取組として、終活クイズを作成し回答を郵送してもらい、市で採点し返送し併せて景品も送っている（136名）。大変に好評で11回目となっている。初めは終活ニュースとしていたが、自分からの終活は気が滅入るとのことからクイズとして行っている。
- 遺言を書いて大和市に遺贈寄付を実現してもらいたい人のために「おひとりさまの遺贈寄付」を大和市がサポートしている。
- 終活支援事業の総括のため、一時的な支援でなく腰を据えた支援のために、終活支援条例を令和3年6月議会に上程している。死に対することは不吉だという人もいるが、今の課題を条例に制定している。
- 今後は講演会の他に映画、葬儀社の相談を行っていく。

【所感】

- ・ 生涯未婚率は特に男性が多く、そのまま亡くなるケースが見られ米子市でも、また実際に自分の回りにも同ケースが存在しており、大変に深刻な課題である。
- ・ エンディングノートについては、保管制度があり市で保管していることで、米子市でも保管制度について参考にして展開できると考える。
- ・ 終活クイズを大和市担当課で作成、採点、返送しているが、担当職員は4名体制で行っており、大変にマンパワーを要する。約5割が80代であり、回数を重ねるごとに好評であることで、その取組に熱意を感じた。
- ・ 終活支援事業は一時的な支援でなく腰を据えた支援のために、終活支援条例を制定されているので、米子市でも展開できるよう視察内容を参考にしたい。

行政視察行程 (会派：公明党議員団 4名)

月 日	行 程	宿 泊 先
10/10 (火)	<p>9:00 米子空港 10:20 羽田空港 11:04 押上駅 11:43 草加駅 12:15 草加駅 13:35 草加市役所 13:41 草加市役所</p> <p>ANA384便 京急空港線快特・成田空港行 東武スカイツリーライン急行・南栗橋行 徒歩(6分)</p> <p>草加市行政視察 午後2時00分から午後4時00分まで 【調査項目】 そうかりノベーションまちづくり事業について</p> <p>16:36 草加市役所 17:14 草加駅 17:16 川口駅/東武バス 17:20 川口駅</p> <p>徒歩(6分) * 草加駅 * 徒歩(2分) 東武バス川12・川口駅行 徒歩(4分) * * 川口駅</p>	<p>東横INN 川口駅前 ☎ : 048-240-1045</p>
10/11 (水)	<p>9:35 宿泊先 * 川口市役所</p> <p>送迎 (宿泊先前待ち合わせ)</p> <p>川口市行政視察 午前10時00分から午前12時00分まで 【調査項目】 空き家対策事業について</p> <p>12:15 川口市役所 12:23 王子駅 12:34 四谷駅 12:51 四谷駅 13:01 四谷三丁目駅 13:05 消防博物館</p> <p>送迎 JR 京浜東北線快速・蒲田行 東京メトロ南北線・白金高輪行 東京メトロ丸ノ内線・荻窪行 徒歩(1分)</p> <p>東京消防庁消防博物館見学 午後2時00分から午後3時30分まで 【消防博物館】 ☎ : 03-3353-9119</p> <p>※臨時休館のため見学できず</p>	<p>ホテルリソル町田 ☎ : 042-732-9269</p>

	<p>消防博物館 * 四谷三丁目駅 〓〓〓〓 新宿駅 〓〓〓〓 町田駅 <small>徒歩 (1分) 東京メトロ丸ノ内線・荻窪行 小田急小田原線・小田原行</small></p>	
<p>10/12 (木)</p>	<p>9:07 9:09 9:12 9:20 町田駅 〓〓 相模大野駅 〓〓 鶴間駅 * 大和市役所 <small>小田急小田原線・本厚木行 小田急江ノ島線・藤沢行 タクシー</small></p> <p>大和市行政視察 午前10時00分から午前12時00分まで 【議事事務局】 ☎ : 046-260-5502</p> <p>【調査項目】 おひとりさまの終活支援事業について</p> <p>12:41 13:06 14:39 15:06 18:20 19:40 大和市役所 * * 大和駅 〓〓〓〓 横浜駅 〓〓〓 羽田空港 〓〓 米子空港 <small>タクシー 相鉄本線快速・横浜行 京急エアポート急行 ANA387便</small></p>	

公明党議員団会派現地視察

埼玉県草加市、埼玉県川口市、神奈川県大和市

旅費計算表

令和5年10月10日～令和5年10月12日 (2泊3日)

月日	区間	鉄道路線名	区キ	間数	目的地までの区キ	運賃	グリーン	急行	行料	金	日	当宿	泊	料
10/10	米子空港～羽田空港	ANA				47,200		特	別新幹線	議員1,500円 随員1,100円		甲 14,800円 乙 13,300円		9,800円
(火)	～押上駅	京急				635								
	～草加駅	東武				324								
10/11	川口駅～王子駅	JR				167						1,500		10,700
(水)	～四谷三丁目駅	東京メトロ				209								
	～四谷三丁目駅	東京メトロ				178								
	～町田駅	小田急				387								
10/12	町田駅～鶴間駅	小田急				199						1,500		
(木)	大和駅～横浜駅	相鉄				272								
	～羽田空港	京急				397								
	～米子空港	ANA				(往復)								
計	議員旅費				72,668	49,968				0		4,500	0	18,200
	随員旅費				0									

出席議員 今城議員、矢田貝議員、徳田議員、津田議員

議員旅費 72,668 × 4名 = 290,672 円
 タクシー代 600 × 1台 = 600 円
 タクシー代 1,600 × 1台 = 1,600 円
 お土産代 × 3箇所 = 8,748 円
 旅行取扱料 1,650 × 4名 = 6,600 円
 計 308,220 円

(鶴間駅⇒大和市役所)
 (大和市役所⇒大和駅)